学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)教養数学	単位数	1	年次	2・3年次 前・後期
使用教科書							
副教材等	完成ワーク数学（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習事項の反復を通して、基本的な四則演算などの計算力を高める。
SPI 形式の小テストを実施する。

2　学習の到達目標

・これまでの既習内容（四則演算）などを学び直しながら知識・技能をより高める。
・日常生活における事象に対し、数学的な表現する力を身に付ける。
・自分の進路実現に向け、数学のよさを認識し、それらを活用しながら学ぶ姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	整数・小数・分数の四則演算などの数学の基本的な計算力を習得し、様々な問題に対して、数学的な表現で正確に計算できるようになる。	日常生活の事象に対して、数学的な表現で表すことができ、定性的な考察ができるようになる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月（10月）		数の計算・式の計算・因数分解・約数と倍数・根号を含む式の計算	a:基本的な計算ができる。 b:数式を正しく表すことができる c:複雑な計算も、最後まで粘り強く取り組むことができる。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物
6月（12月）		２次方程式・１次不等式・２次不等式・関数	a: 因数分解や解の公式を利用し、正しく２次方程式の解を求めることができる。 b: ２次関数のグラフを用いて、２次不等式を正しく解くことができる。 c: 方程式とグラフの関係を理解し、２次以外の不等式の解法をグラフを用いて考えようとする。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物
8月（2月）		図形と角・合同な図形・相似な図形・図形の面積・三平方の定理	a: 基本的な図形の性質が理解できる。 b: 空間図形において、平面図形での知識を活用し、適切に必要な値を求めることができる。 c: 既習の学習を活用し、問題に取り組もうとする。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度